ONKYO®

WAVIO Sound Engine

ニューコンセプトオーディオボード

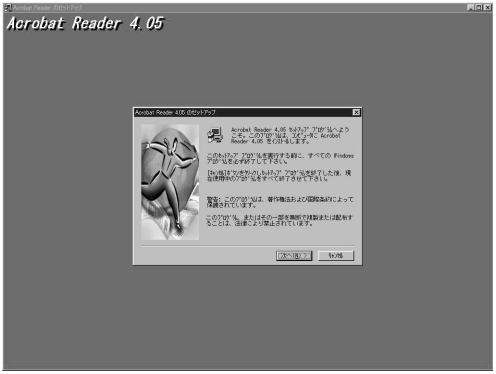
SE-120PCI

インストールマニュアル

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「インストールマニュアル」をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書とともに大切に保管してください。

オンラインマニュアルの使い方

付属のインストールCD-ROMに入っているオンラインマニュアルはWebSynth音色表について書かれています。オンラインマニュアルはPDF形式のファイルですので、これを読むためにはまずAcrobat Readerがインストールされていることをご確認ください。
インストールされていない場合は、まず下記の「■ Acrobat Readerのインストール」にしたがって操作を進めてください。



■ Acrobat Reader のインストール

1. 付属のインストールCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
2. マイコンピュータからCD-ROMドライブを開きます。
3. 次に「Adobe」フォルダを開きます。
4. フォルダ内にある「ar405jpn.exe」をダブルクリックします。ファイルの抽出が始まります。
5. あとは画面の指示にしたがってください。次の画面へ行くには「次へ」をクリックします。

■ オンラインマニュアルの起動方法

インストールCD-ROMをCD-ROMトレイに入れた状態で、マイコンピュータからCD-ROMドライブを開き、menu.htmファイルをダブルクリックしてください。
または、インストールCD-ROMのPDFSフォルダから目的のマニュアルファイルを選択して起動してください。

■ Acrobat Readerの基本操作

メニューバーとツールバー
オンラインマニュアルを起動すると、画面の上部に図のような画面が表示されます。

1. **先頭ページを開きます。**
2. **前のページに戻ります。**
3. **次のページへ進みます。**
4. **最後のページを開きます。**
5. **ページを拡大表示します。**

その他
メニューバーの中から「ヘルプ」を選び、「Readerオンラインガイド」を選択します。
操作方法を詳しくお知りになりたい場合は、このオンラインガイドをご利用ください。

目次

オンラインマニュアルの使い方 2

目次 3

安全にお使いいただくために 4

ソフトウェア使用許諾契約 6

はじめに 7

特長 8

製品構成 8

各部の名称 10

オーディオボードの取り付け方法 11

オーディオボードドライバのインストール 14

Digital (S/PDIF) In/Out の設定 17

WebSynth D-77 のインストール 19

録音のしかた 22

ソフトウェアのアンインストール(削除) 27

故障かな？と思ったら 28

主な仕様 30

アフターサービスについて 31

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

PCの電源をコンセントから抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにPC（パーソナルコンピュータ）の電源を切って下さい。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に分解しない、改造しない

分解禁止

- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。ぬれた状態でご使用になると火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

PCの電源をコンセントから抜いてください

- 万一、誤って本機を落とした場合や、破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。必ず販売店にご相談ください。

安全にお使いいただくために

⚠注意

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 直射日光の当たるところや、真夏の自動車内など温度の高いところ、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

PCの電源をコンセントから抜いてください

- PCの電源を入れたままでの本オーディオボードの取り付けは火災・感電の原因となりますので、必ずPCの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

■ 使用上の注意

- 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。
- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 点検・工事について

PCの電源をコンセントから抜いてください

- お手入れの際は、安全のためPCの電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。感電の原因となることがあります。

■ 静電気に関する注意

- オーディオボードを装着する場合や、オーディオボードに触れる場合にはアースが接続されているものに触れ、身体の静電気を取り除いておいてください。
- オーディオボードは部品の帯電による故障防止の為、静電気防止袋で保護されています。装着の準備が整うまで、ボードを静電気防止袋から取り出さないでください。
- オーディオボードに触れるときには、縁や取り付けの金属部分を持つようにしてください。ボード上の部分や端子部分には触れないでください。
- プラスチック、ビニール、羊毛の繊維製品等静電気を発生しやすいものは遠ざけておいてください。
- 冬場など空気の乾燥した時期には静電気を取り除く際に、衝撃を受けることがあります。この場合には金属製のスプーンなどを手にしっかり握り、スプーンの先で水道管に触るようにすれば、放電の衝撃を和らげることができます。

ソフトウェア使用許諾契約

■ 付属アプリケーション用

本製品に含まれているソフトウェアをセットアップ（インストール）する前に必ずお読みください。本製品に含まれているソフトウェアをセットアップ（インストール）すると、本契約の内容を承諾したことになります。本契約の内容に同意できない場合は、ソフトウェアのセットアップ（インストール）を行わないでください。

使用許諾契約書

本使用許諾契約書（以下、本契約書）は、オンキヨー株式会社（以下、弊社）が提供するソフトウェアと、それに付属するマニュアルなどの印刷された資料に関する使用条件を定めるものです。

第1条　（定義）

1. 「本ソフトウェア」とは、本契約書とともに提供されるソフトウェア（製品名「CarryOn Music」ライセンス数1）、フォント、チュートリアルファイル、ヘルプファイルなどの使用方法を説明したデータなどデジタル情報の一部または全部を指します。なお、本ソフトウェアに含まれる第三者の著作権に関しても、本契約書が適用されます。
2. 「関連資料」とは、本契約書とともに提供されるマニュアルなどの印刷された資料を指します。
3. 「お客様」とは、本契約とともに提供された本ソフトウェアを含む製品を購入し本契約書に同意いただいた個人または法人を指します。

第2条（使用条件）

1. お客様は、本ソフトウェアを1台のコンピュータにセットアップ（インストール）してご利用いただけます。
2. お客様のうち特定のただ一人が使用するコンピュータが複数ある場合には、本ソフトウェアを同時に使用しないという条件の下、特定の個人ただ一人が使用するコンピュータに限り複数セットアップすることができます。
3. 本契約書は、本ソフトウェアの不具合修正などの目的で改訂したソフトウェアに対しても適用されるものとします。ただし、改訂されたソフトウェアと改訂前のソフトウェアは同一のコンピュータにセットアップされている場合に限ります。

第3条（制限）

お客様は、下記の項目を行うことはできません。

1. 本契約書に定めのない、複数コンピュータへのセットアップ（インストール）または複製（コピー）。
2. 関連資料の複製（コピー）。
3. 本ソフトウェアに含まれるプログラムの改変またはカスタマイズ、リバースエンジニアリング。
4. 本ソフトウェアの第三者への再配布、再使用許諾。
5. 本ソフトウェア（複製物を含む）の貸与（レンタル）、疑似レンタル、中古品としての販売、譲渡。
6. 本ソフトウェアをネットワークコンピュータやサーバーから第三者が複製またはダウンロードできる状態にしておくこと。

前項までの規定は、本ソフトウェアを改訂した製品をご購入した場合にも継続して適用されます。

第4条（保証範囲）

1. 弊社は、本ソフトウェアまたは関連製品に物理的な瑕疵がある場合、お客様がご購入後30日間に限り、弊社の判断に基づき交換いたします。ただし、地震、火災などの天災もしくは戦争による破損、または、お客様のご購入後の故意、過失、誤った使用によって生じた破損についてはこの限りではありません。
2. 弊社は、本ソフトウェアの機能がお客様の使用目的と適合することを保証するものではありません。弊社は、本製品の物理的瑕疵について保証するものであり、本ソフトウェアまたは関連資料の使用または使用不能から生ずる直接的または間接的被害については一切責任を負いません。
3. 弊社は、本ソフトウェアを使ってお客様が行ったいかなる行為についても、その責任を負いません。

第5条（期間）

1. 本契約は、本契約が成立した時点、すなわち本ソフトウェアをセットアップ（インストール）した時点に始まり、お客様が本ソフトウェアの使用を停止するまで有効とします。お客様は、本ソフトウェアの使用を停止した時点で、本ソフトウェアおよび関連資料の一切を破棄するものとします。
2. お客様が本契約書に違反した場合は、本契約を解除してお客様の本ソフトウェアの使用を停止させることができます。弊社が、本ソフトウェアの停止を通知した場合には、お客様は速やかに本ソフトウェアおよび関連製品の一切をお客様の費用負担で弊社に返却するものとします。

第6条（一般条項）

本契約書に関して生じた紛争については、大阪地方裁判所を第一審の管轄裁判所とします。

ソフトウェア使用許諾契約

■ Faith Websynth D-77用

ソフトウェアの包装を開封される前に、下記のソフトウェア使用許諾契約書を必ずお読みください。本ソフトウェアは下記使用許諾契約書の内容をご承諾いただいた場合にのみ、ご使用いただけます。もし、開封された場合には、下記使用許諾契約書にご承諾いただけたものとします。
本ソフトウェア製品（CD-ROM等の記憶媒体に記録されたプログラム、データなど）は、万国著作権条約により、株式会社フェイス（日本国〒604-0982京都市中京区御幸町夷川上ル松本町583-1）あるいは各ソフトウェアの制作会社の権利として日本国著作権法で保護されております。また、その他の財産権においても株式会社フェイスあるいは各ソフトウェアの制作会社が保有しております。

第1条
(a) 本ソフトウェア製品は1台のコンピュータのみに使用することができます。
(b) バックアップ用にのみ本ソフトウェア製品の複製を一部作成することができます。
本ソフトウェア製品の購入者は、株式会社フェイスが提供した本ソフトウェア製品に付された著作権表示を複製したものに付されなければなりません。
(c) 本ソフトウェア製品を第三者に譲り渡す場合は、関連書籍及びバックアップコピーと共に譲渡し、第三者に本契約条項を検討の上これに同意することを条件とします。

第2条
上記第一条(c)の場合を除いて、購入者は本ソフトウェア製品及びその複製物を販売、貸与、領付、移転その他の方法で、第三者に使用させることはできません。

第3条
購入者への予告なしに、本ソフトウェア製品の仕様を変更することがあります。

第4条
株式会社フェイスあるいは各ソフトウェアの制作会社は、本ソフトウェア製品を使用、又は使用できなかったことにより派生的、付随的又は間接的な一切の損害については、例えそのような損害の発生があらかじめ知らされていた場合でも、購入者に対し何らの責任を負いません。

第5条
購入者が本契約の1.に違反した場合あるいは著作権法に違反したときに、本使用許諾は株式会社フェイスからの何らの通告なしに自動的に終了するものとします。そのときは、購入者は直ちに本ソフトウェア製品およびその複製物をすべて破棄していただかなくてはなりません。また、購入者は本ソフトウェア製品およびその複製物をすべて破棄することにより、いつでも本使用許諾を終了させることができます。

はじめに

このたびは、WAVIO Sound Engine SE-120PCIをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品をお使いいただくにあたり、下記注意事項をお読みいただき、正しくお使いください。

- 本書は、マウスやキーボードの使用方法など、Windowsの基本的な操作についてすでにご存知であることを前提に書かれています。
- 本製品を運用した結果の影響については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、誤操作、不具合により生じた損害などの純粋経済損失については、その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容は、将来、予告なく変更されることがあります。
- 本書の一部または全部を無断で貸し出し、転載することは固くお断りします。
- WAVIO Sound Engine、CarryOn Musicの名称およびロゴはオンキヨー株式会社の商標です。
- WebSynthの名称およびロゴは株式会社フェイスの商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000 professionalは、米国 Microsoft corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- AcrobatはAdobe社の登録商標です。
- DigiOn、DigiOnSoundの名称およびロゴは株式会社デジオンの商標です。
- 本書に記載されているハードウェアおよびソフトウェアの名称は、各社の商標もしくは登録商標です。

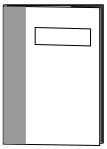
特長

先進のデジタル技術と高度なオーディオノウハウを融合して、徹底したノイズ低減を実現した画期的オーディオボード。新回路設計、デジタル入出力端子装備、金メッキ端子採用など、圧倒的なサウンドパフォーマンスでこれからのデジタルオーディオ時代に対応します。

- **新回路設計により、ノイズからの影響を大幅に低減**
- **光、および同軸のデジタル入出力端子を標準装備**
- **音質重視のアナログRCAピンによる金メッキ入出力端子を採用**
- **ハード音源モジュールを超えるパフォーマンス、ソフトウェアMIDI音源 WebSynth™（ウェブシンセ）搭載**
- **多彩な機能を搭載したデジタルオーディオソフト CarryOn Music™**
- **高度なサウンド編集が可能なDigiOnSound™ Light 付属**

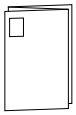
製品構成

（ ）内の数字は数量を表しています



インストールマニュアル（本書1）

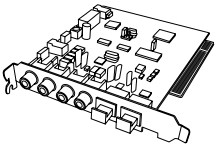
CarryOn Music 取扱説明書（1）



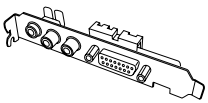
保証書兼お客様登録カード（1）

インストールCD-ROM（1）

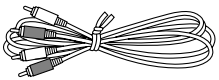
オーディオボード



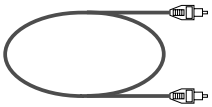
メインボード（1）



サブボード（1）

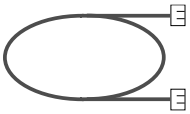


オーディオ用ピンコード（1）



光デジタルケーブル（1）

データケーブル（1）



マイクケーブル（1）

製品構成

■ CD-ROMに収録のソフトウェア

1. CarryOn Music™
   WAVE、MP3、WMA、MIDIファイルを一括してデータベース管理できるライブラリ機能、高音質・高速でのMP3、WMAエンコード、CDDB2からのタイトル取得、外部入力したサウンドデータのMP3変換機能など、音楽を自在に操るオリジナルのデジタルオーディオソフトです。

2. WebSynth™
   従来のソフトウェアシンセと比較してCPUにかかる負荷を大幅に低減し、これにより音源処理を高速で行い、音数の多いMIDIデータも音切れなく再生できます。また本格的なサンプリングにより、リアルで音楽表現に優れたMIDIサウンドを実現します。

3. DigiOnSound™ Light
   高音質/高機能ながら、完全日本語対応・洗練されたユーザインターフェースで初心者でも簡単に操作が可能なサウンド波形編集ソフトです。Windows環境に対応した、日本語版マルチトラックサウンド編集ソフトで、最大6トラックのサウンド編集、動画プレビュー、音楽CD直接読込み、高音質サンプリングなど、ハイスペックな機能を満載して、多彩なエフェクトで思いのままのサウンド編集を可能にします。

ご注意

本ソフトウェアの使用方法については、プログラム本体インストール後、ヘルプをご参照ください。

■ 必要なシステム構成

- Intel Pentium II 233MHz以上のCPUを搭載したPC/AT互換機
- 32MB以上のメインメモリー(64MB以上推奨)
- 20MB以上のHDD空き容量
- PCIバス空きスロット1つおよびサブボード用空きブラケット1つ
- ソフトウェアインストール用のCD-ROMドライブ
- Windows 98、Windows 98 Second Edition (以下、Windows 98 SE)、Windows Me、Windows 2000 professional

ご注意

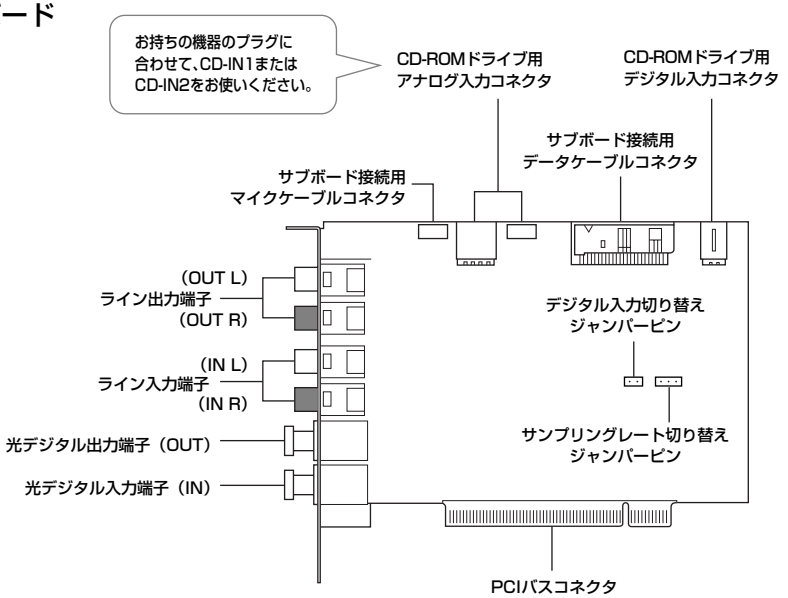
- ドライバ等のアップデートは弊社Webサイトにて行いますので、Internet接続が可能なPC環境を推奨します。
- 付属ソフトのインストールおよび動作に関しては別途HDDの容量が必要になります。

■ 詳細な情報について

当社Webサイト(http://mmc.onkyo.co.jp/)には最新の情報や追加・変更情報が公開されていることがあります。作業を始める前に当社Webサイトをご確認頂くことをお勧めいたします。また、ドライバ等の更新もWebサイトにて行います。
また、付属のCD-ROMにはソフトウェアの詳細な使用法が記載されたPDFファイルがございますので、お使いの際はそちらをご覧ください。

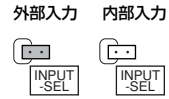
各部の名称

1. メインボード

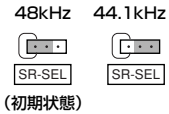


ご注意

- **デジタル入力切り替えジャンパーピンに関して**
  本製品のデジタル入力は外部（同軸・光）と内部（CD-ROMドライブ用デジタル入力）のいずれかを選択していただく仕様になっています。出荷初期状態（ジャンパーピンが接続された状態）では外部デジタル入力が選択されています。内部入力をお使いになる場合はジャンパーを取りはずしてください。その際、取り外されたジャンパーは大切に保管してください。

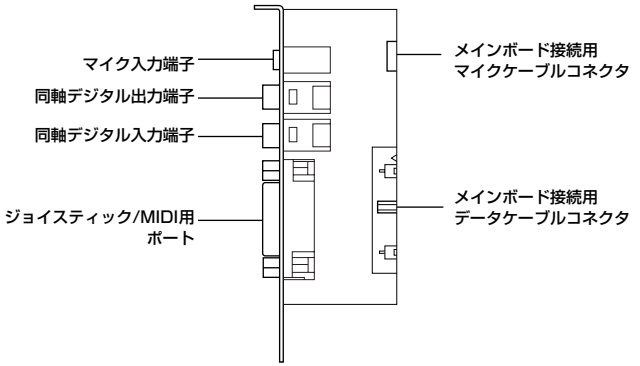


- **サンプリングレート切り替えジャンパーピンに関して**
  このジャンパーピンを差し替えることで、デジタル出力のサンプリングレートの44.1/48kHz選択が可能です。出荷初期状態で48kHzが選択されています。



ジャンパーピンの切り替えは必ずPCの電源が入っていないことを確認の上、PCの電源コードを抜いた状態で行ってください。故障、感電の原因となります。

2. サブボード



オーディオボードの取り付け方法

ご注意

オーディオボードの取り付けを始める前に、〈安全にお使いいただくために〉の注意事項を確認してください（4、5ページ参照）。

■ メインボードの取り付け方法

1. PCと周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. PCのケース金属部分に触れ、身体の静電気を放出します。

   ご注意

   静電気の放出を行わないと、ボードやPC本体を破壊することがあります。

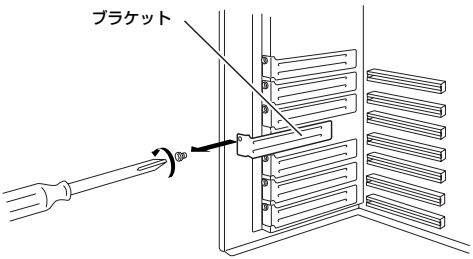
3. PCのケースをはずします。

   ♪ヒント

   ケースのはずし方は、お手持ちのPCの取扱説明書を参照してください。
4. PCIバス拡張スロットの位置を確認し、拡張スロットのブラケットを止めているネジをはずします。
5. ブラケットを取りはずします。はずしたブラケットとネジは保管しておいてください。

   ご注意

   PC内部やボードには突起がありますので、けがをしないように注意してください。



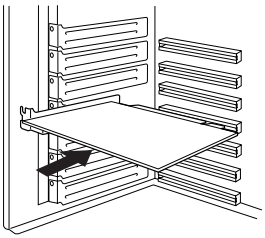
ご注意

ドライバーはネジにあったものをご使用ください。ネジにあわないドライバーを使用されますと、ネジを破損するおそれがあります。

♪ヒント

はずしたネジはボードの取り付けに使用します。

6. メインボードの金属端子部分やピンを曲げないように注意してPCIバスコネクタにまっすぐに挿入します。
7. 手順4で取りはずしたネジでメインボードを拡張スロットに固定します。



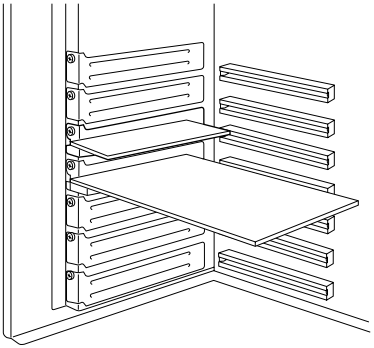
ご注意

この時メインボードが拡張スロットにしっかり挿入、固定されているか必ずご確認ください。
正しく挿入されていないと、認識できなかったり誤動作の原因となる場合があります。

オーディオボードの取り付け方法

■ サブボードの取り付け方法

1. 使用していない拡張スロットのブラケットをはずします。
2. サブボードの金属パネルをブラケットのあった場所に挿入し、ネジで固定します。
3. 下の「内部接続方法」に従って、メインボードとサブボードのケーブル（データケーブル・マイクケーブル）を接続します。
4. PCのケースを取り付けます。



ご注意

サブボードはPCI/ISAバスを使用しませんが、取り付けると、他の拡張ボードを取り付けることができなくなります。できる限り、普段使用しないブラケットをお使いください。

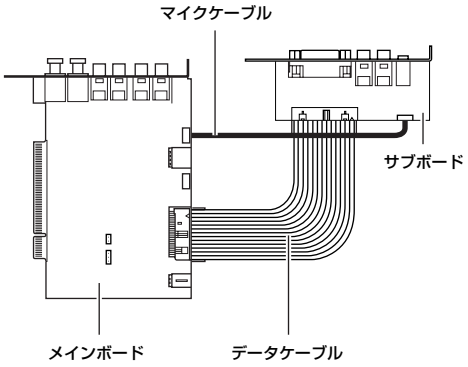
■ 内部接続方法

本製品はノイズ対策のためにデジタルとアナログをそれぞれ全く別回路で扱っていますので、サブボードの機能を使用する場合はケーブルを2本接続していただく必要があります。

1. メインボードのデータケーブルコネクタ（10ページ参照）とサブボードのデータケーブルコネクタ（10ページ参照）を付属のデータケーブル（フラットケーブル）で接続します。凹凸があるので、上下逆に接続することはできません。
2. 次にメインボードのマイクケーブルコネクタ（10ページ参照）とサブボードのマイクケーブルコネクタ（10ページ参照）をマイクケーブルで接続します。

♪ヒント

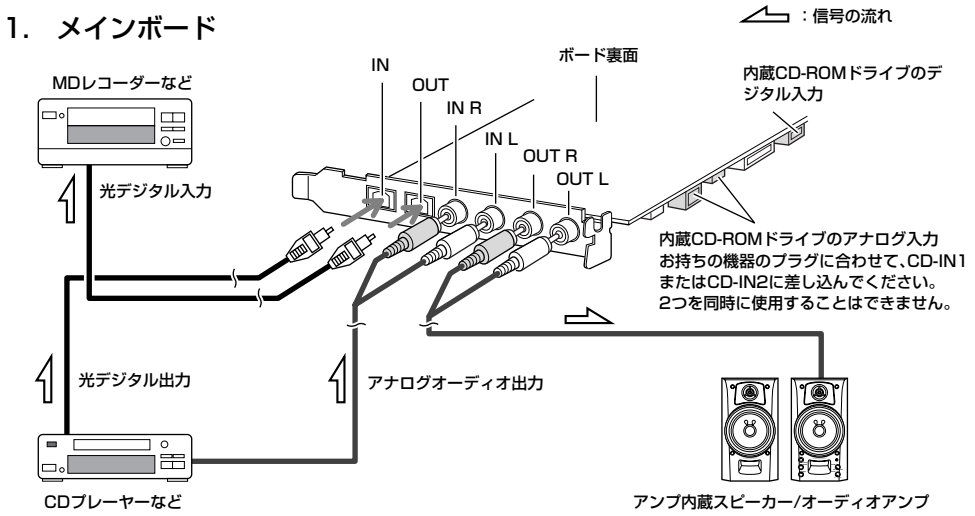
各ボードの取り付け場所、PCの拡張の度合いによっては、PCに取り付けをする前にメインボードとサブボードの接続をした方が作業を行いやすい場合があります。



オーディオボードの取り付け方法

■ 各種デバイスの接続

1. メインボード

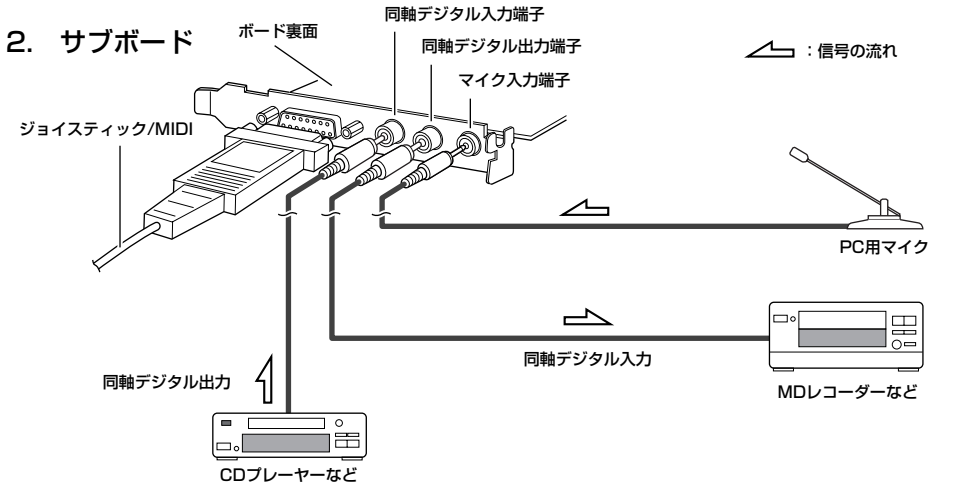


ご注意

- **デジタル入力の外部と内部の切り替えについて**
  本製品のデジタル入力は外部に同軸1 、光1および 内部にCDデジタル入力端子1の合計3端子を用意していますが、外部と内部の入力はメインボード中央のジャンパーピンによって切り替えてご使用いただけます（10ページ参照）。

- **外部同軸デジタル端子および光デジタル端子の同時接続について**
  外部同軸デジタル端子および光デジタル端子に同時に接続された場合、同軸端子が優先されます。両端子に機器を接続した環境で、光端子の入力信号をお使いになる場合は、同軸に接続された機器の電源を切るか、同軸ケーブルを取りはずしてください。

2. サブボード



オーディオボードドライバのインストール

■ ドライバのインストール方法

ご注意

- インストール作業を開始する前に必ずPCの電源が切れていることを確認してください。
- 以下の説明はWindows 98の画面にしたがった手順（一部例外あり）ですが、Windows 98 SE/MeおよびWindows 2000に関しても基本的には同じ手順でインストールしてください。

1. 本製品を「オーディオボードの取り付け方法」（11～13ページ）にしたがってPCに取り付けます。
2. PCを起動すると、Windowsの起動中に本製品が自動的に検出され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されますが、Windowsが正常起動するまでいったん「キャンセル」をクリックして終了させます。

3. Windowsが完全に起動し終わった状態でドライバのインストール作業に進みます。付属CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
4. まず付属CD-ROMの「Driver」フォルダ→「win9x_me」フォルダ内にある「Setup.exe」ファイルを実行（ダブルクリック）します。

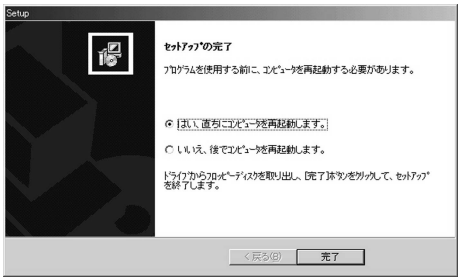
   ♪ヒント

   Windows 2000の場合は同じ「Driver」フォルダの「win2000」フォルダ内にある「Setup.exe」ファイルを実行（ダブルクリック）します。

5. 「次へ」をクリックすると右の画面が表示されますので、「ドライバのアップグレード」を選択して「次へ」をクリックします。

オーディオボードドライバのインストール

6. ドライバファイルのコピーが始まり、右の画面が表示されますので、「はい、直ちにコンピューターを再起動します。」を選択し、「完了」をクリックします。Windowsが再起動されます。



7. Windowsの再起動後、ドライバのセットアップが自動で行われ、インストール作業は終了です。

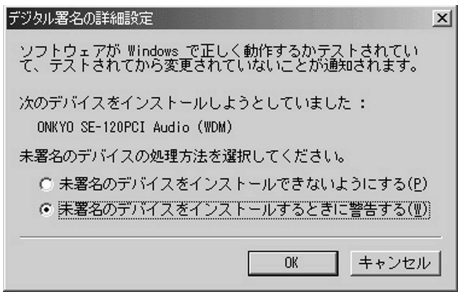
ご注意

環境によってはWindowsのシステムCD-ROMが必要になる場合があります。

Windows Meの場合

1. 上記7.のドライバのセットアップで右のようにインストールを中止するようなメッセージが表示されることがあります。

2. この場合「詳細設定」をクリックし、右の画面で「未署名のデバイスをインストールするときに警告する」を選択後、「OK」をクリックします。



3. 右の画面で「はい」を選択後、「OK」クリックすることで正常にインストールが終了します。

※ 同梱のドライバはマイクロソフト社の認証を受けていないため上記メッセージが表示されますが、弊社での検証上システムに重大な影響を及ぼす危険性はありません。なお、認証済みドライバは後日弊社ホームページにて配布予定です。

オーディオボードドライバインストール

■ ドライバインストールの確認

ドライバのインストール終了後、「コントロールパネル」→「システム」のプロパティを開き、「デバイスマネージャー」のタグを選択し、次のデバイス名が正常に認識されているか確認してください。

サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ

- MPU-401 Compatible MIDI Device
- ONKYO SE-120PCI Audio (WDM)
- ゲームポート ジョイスティック

■ オーディオデバイスの確認

「コントロールパネル」→「マルチメディア（サウンドとマルチメディア）」のプロパティを開き、「オーディオ」のタブで再生デバイス・録音デバイスが「ONKYO SE-120PCI (1)」になっていることを確認してください。

♪ヒント

OSのバージョンによって表示される画面構成や文字が違う場合があります。
特にWindows MeやWindows 2000では大きく変更されていますが、設定項目は同じです。

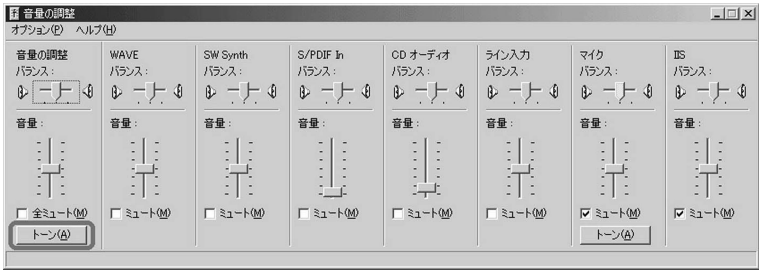
例）Windows Me/Windows 2000

Digital (S/PDIF) In/Outの設定

本製品はDigital (S/PDIF) In/Outを装備していますが、各端子とも2通りの動作モードがあります。

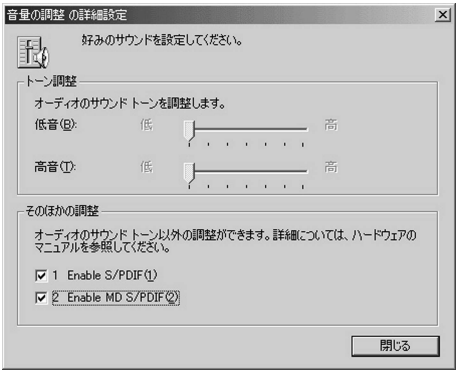
■ Digital (S/PDIF) Out（デジタル出力）

1. Digital (S/PDIF) Outを有効にするには「コントロールパネル」→「マルチメディア（サウンドとマルチメディア）」のプロパティにある再生音量をクリックすると以下の画面が表示されます。



2. 「トーン」をクリックすると以下の画面が表示されます。

- 「Enable S/PDIF」がチェックされているとデジタル出力が有効になります。
- 「Enable MD S/PDIF」がチェックされているとミキサーを介さないフルデジタル出力が有効になります。



♪ヒント

各ボリュームの表示設定は「オプション」→「プロパティ」で変更可能です。

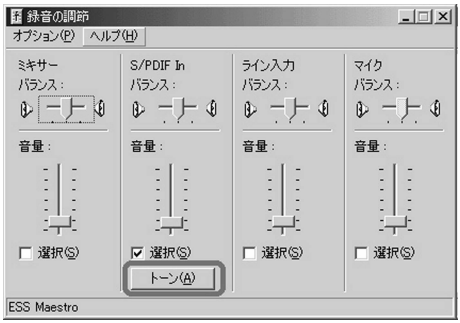
ご注意

本製品の仕様上、デジタル入力（フルデジタル入力）をご使用になる場合は、同時にフルデジタル出力機能を使用することはできません。デジタル入力する場合はかならず「音量の調節」（再生側）にある「Enable MD S/PDIF」のチェックをはずしてください。チェックしたままではデジタル入力信号にノイズが混入します。（「Enable S/PDIF」のチェックボックスはデジタル入力を制限しませんので、有効/無効どちらでも結構です）

Digital (S/PDIF) In/Outの設定

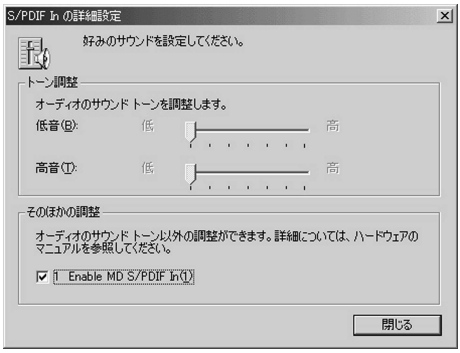
■ Digital (S/PDIF) In（デジタル入力）

1. Digital (S/PDIF) Inはドライバがインストールされた状態で常に有効になっていますが、「コントロールパネル」→「マルチメディア（サウンドとマルチメディア）」のプロパティにある再生音量をクリックすると以下の画面が表示されます。



2. 「トーン」をクリックすると以下の画面が表示されます。

「Enable S/PDIF In」がチェックされると、ミキサーを介さないフルデジタル入力が有効になります。ただし、デジタル入力された音声をモニタリングすることができなくなります。（再生ボリュームのS/PDIF Inがミュートされます）



ヒント

各ボリュームの表示設定は「オプション」→「プロパティ」で変更可能です。

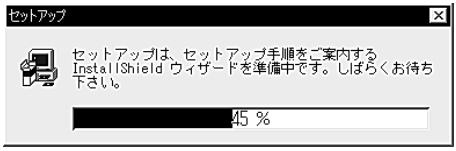
ご注意

本製品の仕様上、デジタル入力（フルデジタル入力）をご使用になる場合は、同時にフルデジタル出力機能を使用することはできません。デジタル入力する場合はかならず「音量の調節」（再生側）にある「Enable MD S/PDIF」のチェックをはずしてください。チェックしたままではデジタル入力信号にノイズが混入します。（「Enable S/PDIF」のチェックボックスはデジタル入力を制限しませんので、有効/無効どちらでも結構です）

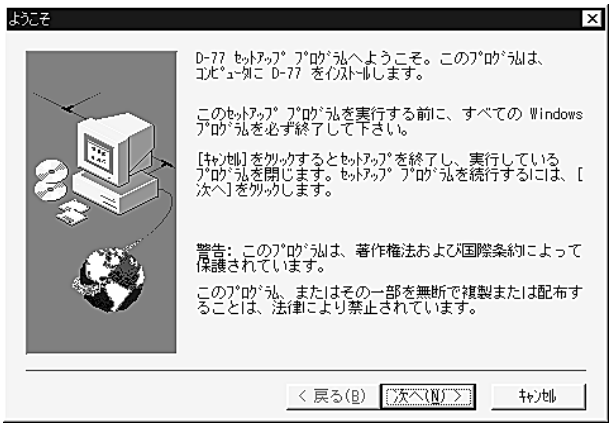
WebSynth D-77 のインストール

■ ソフトウェア MIDI 音源「WebSynth D-77」のインストール方法 (Windows 98 (SE)の場合)

1. はじめにそれまで実行していたすべてのWindowsアプリケーションを終了させてください。
2. 「マイコンピュータ」をダブルクリックで開き、CD-ROMドライブが接続されているドライブをダブルクリックします。
3. CD-ROMから「D-77」フォルダを開き「win_95_98」フォルダの「Setup.exe」をダブルクリックすると、「Faith WebSynth D-77」のインストールの準備を開始しますのでしばらくお待ちください。



4. インストール画面にしたがって「次へ」をクリックしていきます。



5. インストールの途中で「Faith D-77 WebSynthをインストールするためには、オーディオデバイスとDirectSound 3.0b 以上がインストールされている必要があります。セットアップを継続しますか？」と聞いてきますので「はい」を選択します。

6. インストール先ディレクトリが指定できます。通常はそのまま「次へ」をクリックします。

7. 最後に、お客様のPCを再起動するかどうかの確認メッセージが出ます。「はい」を選択すると、自動的に再起動します。

以上の手順でWebSynthのセットアップは完了です。

♪ヒント

Windows 2000/Meにインストールする場合は、それぞれ付属CD-ROMの「D-77」フォルダ内にある「install_manual.htm」ファイルを参照してください。

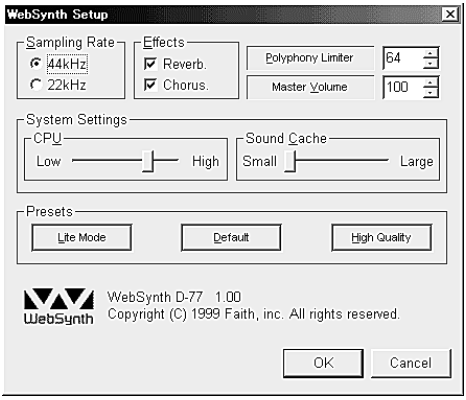
WebSynth D-77 のインストール

■ WebSynth D-77のインストールの確認

コントロールパネルを開き、「マルチメディア」のアイコンをダブルクリックすると「マルチメディアのプロパティ」が表示されますので、「MIDI」のタグをクリックし、一覧の中から「WebSynth D-77」を選択してください。

■ WebSynth D-77の設定

1. 「スタート」ボタンから「設定」→「コントロールパネル」と進み、「WebSynth D-77」を選択します。



2. 各チェックボックス、スライドバーにてWebSynthの設定ができます。
   - Sampling Rate：WebSynthのサンプリングレートが、44kHz/22kHzに切り替えられます。
   - Effects：Reverb/ChorusのそれぞれのON/OFFが切り替えられます。
   - Polyphony Limiter：WebSynthの最大同時発音数の制限を選択できます。
   - Master Volume：WebSynthのマスターボリュームを調整します。
   - CPU：LowからHighのスライドバーによって、CPUに与える負荷を制限します。
   - Sound Cache：WebSynthがオーディオデータを作成するためのバッファのサイズを調整します。通常Smallで使用してください。
   - Presets ：Lite Mode /CPUへの負荷を軽くした設定に各項目が変更されます。
     ：Default/WebSynthの設定を標準的なものに設定します。
     ：High Quality/WebSynthの機能を最大限に発揮できる設定になります。
3. 設定変更後は「OK」をクリックすると変更されます。

録音のしかた

あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません

ここでは付属のDigiOnSound Lightを使った録音の方法をご紹介します。

■ DigiOnSound Lightのインストール

DigiOnSound Lightのインストール方法

1. はじめにそれまで実行していたすべてのアプリケーションを終了してください。

2. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
3. 「マイコンピュータ」を開き、CD-ROMが接続されているドライブを開きます。
4. CD-ROMから「DigiOn」フォルダを開きます。
5. 右図ウインドウで「Sound」フォルダを開き、その中にある「Setup.exe」をダブルクリックすると、インストールを開始します。

6. インストールの準備が終了すると、インストール画面が表示されます。案内に従って作業を進めてください。途中で名前、会社名、シリアル番号を入力する画面があります。シリアル番号「DGON-003-763357-9FW8G5」（31ページ参照）を入力し、次へ進んでください。

7. ファイルのコピーが終了しますとセットアップの完了画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックし、インストールを終了します。

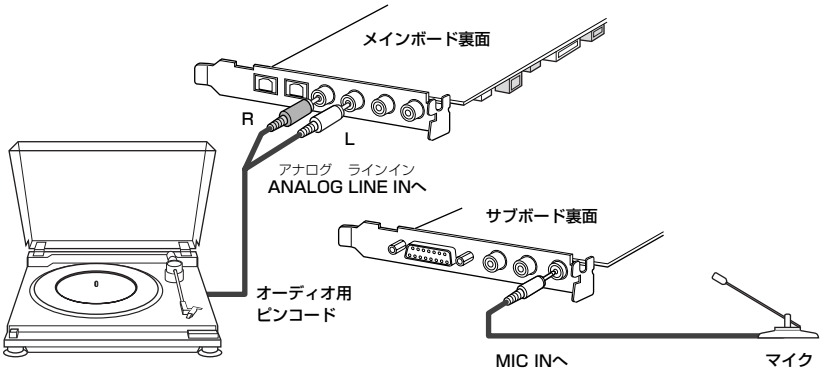
♪ヒント

セットアップ完了画面で「デスクトップにショートカットを作成する」にチェックを入れるとデスクトップにアイコンが自動作成されます。

録音のしかた

■ マイクやLine入力のアナログ音声をパソコンに入力する

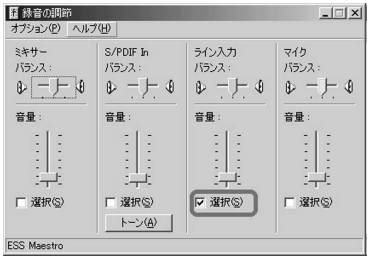
1. アナログ再生させる機器を図のようにSE-120PCI本体に接続します。



ご注意

レコードプレーヤーを接続する場合は、フォノイコライザーを通して接続するか、フォノイコライザー内蔵のレコードプレーヤーをお使いください。

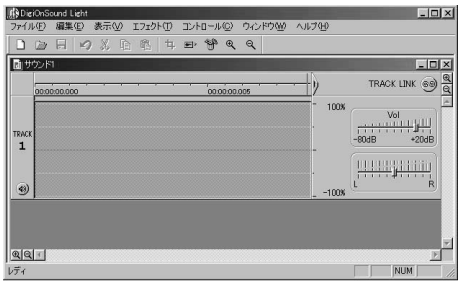
2. 「録音コントロール（コントロールパネルのマルチメディアにあるオーディオの録音のアイコンをクリック）」で出てくる入力ソースから録音したいソースを右図の例のように選択します。



ヒント

Windows 2000/Meの場合は、コントロールパネルの「サウンドとマルチメディア」にある「オーディオの録音音量」で「録音コントロール」を表示します。

3. DigiOnSoundを立ち上げ、「ファイル」→「新規作成」を選択し、新規マルチトラックウインドウを開いておきます。



録音のしかた

4. サンプリングレートを44.1kHz、16bit、ステレオに設定します。サンプリングレートは「ファイル」→「環境設定」→「サウンド形式」で選択します。ステレオ/モノラルは「コントローラー」ウインドウの「チャンネル設定」で選択することができます。

   ♪ヒント

   より良い音声で楽しんでいただくために、録音にご利用されているお手持ちのソフトウェアでサンプリングレートを48kHz、16bitステレオに設定されることをお勧めします。

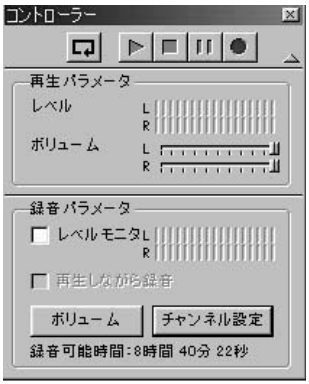
5. 試しに録音するソースを入力し、「コントローラー」ウインドウの「レベルモニタ」を参考に録音レベルを調節します。

   ♪ヒント

   録音レベルの調節は「コントローラー」（右図）の「ボリューム」で、選択している入力ソースのボリュームを調整するか、直接入力しているソースの入力レベルを調節してください。

6. 「コントローラー」ウインドウの（録音）をクリックすると録音が開始されますので、同時に録音したい音源の再生を行ってください。

7. 「コントローラー」ウインドウの（録音停止）をクリックすると録音が終了します。



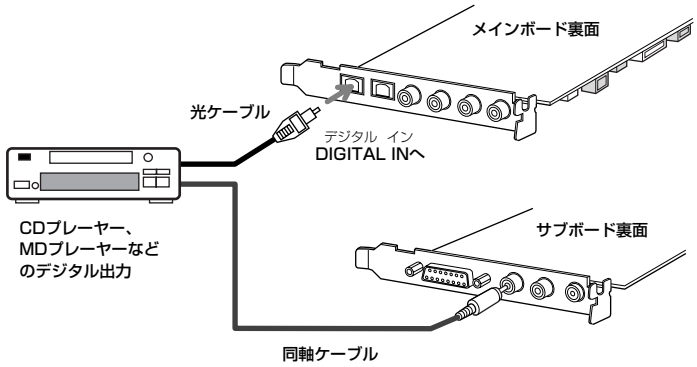
「コントローラー」ウインドウの表示
「表示」→「コントロール」にチェックを入れる

録音のしかた

■ CDやMDのデジタル音声をパソコンに入力する

ここでは付属のDigiOnSound Lightを使った録音の方法をご紹介します。

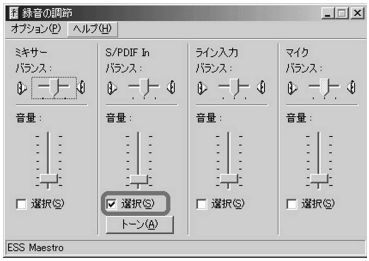
1. デジタル再生させる機器を図のようにSE-120PCI本体に接続します。



ご注意

同軸／光デジタル入力端子にそれぞれ別の信号が入力された場合は同軸端子が優先されます。

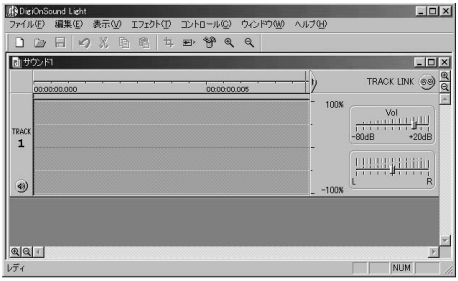
2. 「録音コントロール（コントロールパネルのマルチメディアにあるオーディオの録音のアイコンをクリック）」で「S/PDIF In」を右図の例のように選択します。



ヒント

Windows 2000/Meの場合は、コントロールパネルの「サウンドとマルチメディア」にある「オーディオの録音音量」で「録音コントロール」を表示します。

3. DigiOnSoundを立ち上げ、「ファイル」→「新規作成」を選択し、新規マルチトラックウインドウを開きます。



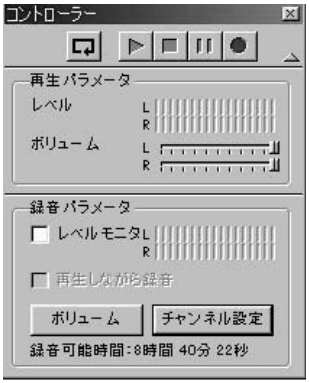
録音のしかた

5. サンプリングレートを44.1kHz、16bit、ステレオに設定します。サンプリングレートは「ファイル」→「環境設定」→「サウンド形式」で選択します。ステレオ/モノラルは「コントローラー」ウインドウの「チャンネル設定」で選択することができます。

♪ヒント

より良い音声で楽しんでいただくために、録音にご利用されているお手持ちのソフトウェアでサンプリングレートを48kHz、16bitステレオに設定されることをお勧めします。

6. 「コントローラー」ウインドウの● （録音）をクリックすると録音が開始されますので、同時に録音したい音源の再生を行ってください。
7. 「コントローラー」ウインドウの■ （録音停止）をクリックすると録音が終了します。



「コントローラー」ウインドの表示
「表示」→「コントロール」にチェックを入れる

ソフトウェアのアンインストール（削除）

■ ソフトウェアのアンインストール（削除）のしかた

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」と進み、「アプリケーションの追加と削除」を選択します。
2. 削除したいソフトウェアのタイトルを反転させます。
   - **ソフトウェア MIDI 音源「WebSynth D-77」を削除したい場合（Windows 98/SE）**
     →Faith WebSynth D-77を選びます（詳細は付属CD-ROMの「D-77」フォルダ内にある「install_manual.htm」を参照してください）
   - **CarryOn Music を削除したい場合**
     →CarryOn Musicを選びます
   - **DigiOnSound Lightを削除したい場合**
     →DigiOnSound Light を選びます
3. 「追加と削除」ボタンをクリックします。

■ ドライバのアンインストール（削除）のしかた

1. 「オーディオボードドライバのインストール」手順（14〜16ページ）にしたがって作業を進めてください。
2. 右画面で「ドライバアンインストール」を選択し、Windowsを終了します。
3. PCの電源が切れていることを確認し、本製品をPCより取りはずします。

ご注意

本製品の取りはずしに際し、「オーディオボードの取り付け方法」（11ページ）にある注意などを今一度ご確認ください。

故障かな？と思ったら

以下の処置を施したにもかかわらず症状が改善されない場合は、巻末のサポートセンターまでご連絡ください。製品の故障により正常に録音ができなかったことによって生じた損害（CDのレンタル料等）については保証いたしかねます。大事な録音をされるときには、あらかじめ正しく録音できることをご確認の上、録音いただきますようお願いいたします。

症状	原因	処置
デバイスを認識しない。	• 接続が不完全。	• 11、12ページを参考に、オーディオボードが確実にPCに接続されているか、確認してください。
	• PCのリソースが不足しているまたは、他のデバイスと競合している。	• PCの取扱説明書などを参照して適切なリソースを確保してください。
	• 他のデバイスと電気的な問題がある。	• メインボードの取り付け位置を変更してください。この作業により問題が回避できる場合があります。
音声が出ない。	• ミュートされている。	• Windowsのタスクバーにあるスピーカーのアイコンを右クリックして「音量の調節」パネルを開き、ミュートのチェックをはずしてください。
	• 出力レベルが小さい。	• Windowsのタスクバーにあるスピーカーのアイコンを右クリックして「音量の調節」パネルを開き、各音声出力のレベルを適正な値に調整してください。
	• 他の音声出力デバイスが使用されている。	• コントロールパネルにある「マルチメディアのプロパティ」を開き、「再生」の「優先するデバイス」から本製品を選択してください。それでも出力されない場合は、「優先するデバイスのみ使用する」のチェックボックスにチェックを入れてください。
	• 外部アンプあるいはスピーカーに問題がある。	• ラインアウト端子から外部アンプやスピーカーに確実に接続されているかどうか確認してください。その際、ケーブルに問題がないか併せてご確認ください。また、外部アンプやスピーカーの電源やボリュームを確認してください。
左右の音量バランスがかたよっている。	• バランスが中央に設定されていない	• Windowsのタスクバーにあるスピーカーのアイコンを右クリックして「音量の調節」パネルを開き、バランススライドバーで調整してください。
	• 外部アンプあるいはスピーカーに問題がある。	• 外部アンプやスピーカーのバランスを確認してください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
AC-3(5.1ch)デジタル出力ができない。	• 使用しているソフトがSE-120PCIでのAC-3デジタル出力に対応していない。	• SE-120PCIの仕様はAC-3デジタル出力に対応しています。対応確認済みソフトDVDプレーヤーの最新情報は弊社ホームページをご確認ください。 • ドライバのバージョンやOSによって対応状況が異なります。詳細は弊社ホームページをご確認ください。
マイク音声が入力できない。	• マイクの接続が不完全。 • サブボードが正確に接続されていない。 • マイクの適合性に問題がある。	• マイクを確実に接続してください。 • 12ページをご参照の上、正確に接続してください。 • プラグインパワー方式のマイクを接続してください。
ライン音声が入力できない。	• ライン入力の接続が不完全。 • 外部機器から音声が出力されていない。	• 外部からライン入力に確実に接続してください。 • 外部機器から音声が出力されているかどうか確認してください。
音が途切れる。	• 音声出力や入力中に、負荷のかかる作業をしている。 • CPUの処理が再生に追いついていない。	• 録音等をされる場合には、CPUに負荷のかかる作業は控えてください。 • CPUが推奨スペックを満たしていない場合は期待した性能を発揮できない場合があります。また、CPUが推奨スペックを満たしている場合でもCPUが非常に高負荷の状態である場合は音が途切れることがあります。この場合は他のアプリケーションをすべて終了してください。
雑音が多い。	• テレビなど、強い磁気を帯びたものの近くに置いている。 • 各入出力端子の接続が不完全。 • 外部スピーカーに問題がある。	• テレビなどから十分に離して置いてください。 • 13ページを参照して確実に接続してください。 • 接続するスピーカーの製造元にお問い合わせください。
CD-ROMドライブからの音声が出力されない。	• オーディオケーブルが接続されていない。 • デジタル入力切り替えのジャンパー設定が外部入力になっている。 • CD-ROMドライブ用のアナログ入力コネクタに複数のアナログ入力を行っている。	• 13ページを参照して確実に接続してください。 • 10ページを参照してジャンパーをはずしてください。 • 本製品のCD-ROMドライブ用のアナログ入力コネクタは、2つの形状に対応しています。どちらか一方をお使いください。
デジタル入力信号が録音できない。	• フルデジタル出力が有効になっている。 • 同軸と光の両端子から同時に入力している。	• 音量の調節にあるフルデジタル出力のチェックをはずしてください。 • 本製品の外部デジタル入力信号は同軸端子を優先するように設計されています。光入力信号を取り込む場合は同軸からの入力機器の電源を切るか、接続をはずしてください。

主な仕様

WebSynth

Synth部	音声発音方式	PCM
	パート数	16トラック
	最大発音数	128音
	再生レート	22.05kHz
	WAVEサンプリングレート	44.1kHz
	波形サイズ	2.3MB
	音色数	674
	ドラムセット	15
Effect部	エフェクトタイプ	リバーブ、コーラス
フィルタ	エフェクトコントロール	チャンネル毎
その他	ダイナミックフィルタ	TVF
	対応MIDIメッセージ	GM/GS/＋α
	MIDI IN	可
	MIDI IN速度	50-500 ms以下
	対応OS	Windows 98以降、 Windows 2000 professional
	推奨CPU	Pentium II 233MHz以上
	必要メモリ	32MB以上

WAVIO Sound Engine

型番	**SE-120PCI**
形式	オーディオボード
接続方式	PCIバス
サンプリング周波数	
デジタルIN	32/44.1/48kHz対応
デジタルOUT	44.1/48kHz切り替え
周波数特性	0.1Hz ～ 20kHz (+0/-3dB, LINE OUT)
SN比	99dB (A-Filter)
全高調波歪率	0.009% (1kHz, 0dB)
出力レベル	2.0Vrms
ライン入力レベル	0.8Vrms
マイク入力感度	500mVrms / 50mVrms (+20dB 時)
質量	170 g

♪音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分しましょう。
特に静かな夜間には、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

アフターサービスについて

■ 保証書について

この製品には、保証書を別途添付しております。所定事項の記載および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときには、商品と保証書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店または弊社カスタマーセンターにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 修理を依頼されるときは

「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名（SE-120PCI）」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しく、お買い上げ店または弊社カスタマーセンターまでご連絡ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店または弊社カスタマーセンターまでご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

ご購入された時にご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日 ： 年 月 日

ご購入店名 ：

Tel. ( )

メモ：

電話でのお問い合わせ：072-831-7305

サポート時間：
弊社稼働日　月～金曜日(祝日を除く)
10:00～12:00、
13:00～17:00

FAXでのお問い合わせ：072-831-8124

手紙でのお問い合わせ、修理品のご送付：

〒572-8540
大阪府寝屋川市日新町　2番1号
オンキヨー株式会社
カスタマーセンター宛

E-mailでのお問い合わせ：vox@onkyo.co.jp

製品に関する最新情報などは：

ホームページアドレス
http://mmc.onkyo.co.jp/
をご参照ください。

※「WebSynth」に関する最新情報は、
http://www.faith.co.jp/
をご参照ください。

DigiOnSound™ Light
インストール用シリアルNo.

DGON-003-763357-9FW8G5

DigiOnSound Lightのインストール時に、上記のシリアルNo.を入れてください。

※ SE-120PCIのお客様登録用シリアルNo.は、パッケージおよびボード本体に記載されています。

ONKYO

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2−1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.onkyo.co.jp/
http://mmc.onkyo.co.jp/

SN 29343055

Printed in Japan
D0012-1